

No.ex4001

夏山予備山行Part 2

編笠山

実施日 2011年7月16日(土)~17日(日)
天候 晴れ
リーダー 涌井 良明
参加者 涌井良明、鈴木政三、渋谷賢寿、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、石原勝正、長濱隆行、長濱あゆみ 計9名
費用 JR5,880円(新宿起算運賃のみ)
タクシー1,100円 テン場600円
タイム 16日 小淵沢(9:09~9:35)富士見登山口(9:50~10:00)不動清水(10:40~10:50)休1670m(11:30~11:40)休1920m(12:15~12:45)昼食休2090m(13:35~13:45)西岳(15:00~15:10)水場(16:10~16:20)青年小屋テント場(16:25) テント泊
17日 起床(4:00)テント場発(6:00)編笠山(6:35~7:05)休2230m(7:55~8:05)押手川(8:20~8:25)雲海(8:55~9:02)観音平前(9:25~9:40)観音平(9:50~10:05)スパティオ小淵沢・延命の湯(10:30~12:20)小淵沢(12:35~12:46)

当初7/23-24計画だが、同日は夏山予備山行で仙丈岳に変更したため、夏山前の土日では予備山行を行いたいために日程を変更して実施した。

当会では珍しいテント泊山行となったが、好天に恵まれて良い山行になった。

ジリジリ照りつける小淵沢駅で3連休の待ちは多少あったが、富士見高原登山口でタクシーを降る。導標に従い西岳登山道に入る、標高からか蒸し暑さは少なく、だらだらと遊歩道を登る。40分程で不動清水へ、長命水という冷たく美味しい水場である。

今日はこの辺りからブヨよりもアブの姿が多くなり、虫除け対策も



の待ちは多少あったが、富士見高原登山口でタクシーを降る。導標に従い西岳登山道に入る、標高からか



必要になる。道はほぼ一定の傾斜を持って高度を上げて行くが樹林帯で視界の楽しみはないが、トレーニング山行としてはかえって良いのかも知れない？

林道を数回横切りながら単調な登りが続く、1920m付近で昼食をとり、相変わらずの登りを歩くが、どこか丹沢のバカ(大倉)尾根を登っているような気分にもなってくる。2000mも越してくると傾斜も増してザックの重さも効いてくる、今週もまた年齢を意識させられてしまうのは悔しくもあるが、曲がりなりにもまだ背負って歩けるだけでも良しとしなければといったところか。



樹林の切れたガレ場の展望台？からやっと山らしい眺めを楽しめた、いかにもの編笠山を正面に鞍部に青年小屋も

小さく望めたが、まだ遠いなあといった感じであり嬉しくない感じではある。

思ったより時間はかかったが、15時西岳山頂に出た、重いザックがこたえた登りだった。ギボシ、権現、赤岳と南八ツの峰



々が午後の陽に照らされていた、その奥の青いキャンバスに積乱雲が夏模様を描いているが、こっちまで来ないように願う。



気持ちの良い山頂を辞して青年小屋へのトラバースルートに行く、すぐ

にまた樹林帯の道になりどの辺りを歩いているのか分かりずらかった、今迄と比べれば登りが無い分楽だが、やはりザックが重い。もうそろそろかと思う頃に乙女の水に出た、豊富な水量が流れる贅沢な水場だ、今夜の水を確保してから青年小屋のテント場に16時25分着。



カラフルなテントが競う中、我々も4張りを設営した。心配していたにわか雨の気配もなく、青空の下でビールで乾杯、そして

て晚餐？の夏野菜カレーで腹を満たし、腹も気分も満足してそれぞれハウスで就寝となった。

翌朝4時、今日も穏やかな朝となった。撤収と朝食が同時進行となってしまった感じはあったが、晴天無風なればこそだったかも知れない。

予定通りに6時にテント場を後に小屋前から編笠山に向かう、大岩の重なり合った飛び石伝いの急登は体が目覚めてなく、ザックの重みにバランス感覚もままならない、しょうがねーなーっと思いつつ、またもお年ですからといった声が何処からか聞こえてきそうである。



それでも35分の頑張りで編笠山頂に出



るとそこは、超弩級の展望台だった。背後のギボシ、権現岳、赤岳からシルエットで聳える富士山、雲海を従えて畝

々と壁となって連なる南ア、一つの山体のような中央ア、奥に存在感を見せる御嶽山、孤高を楽しむ乗鞍岳、そして日本の山岳美を誇る北アの全山の眺望が我々を待っていてくれた。これほどの山々をスッキリ見せてくれた瞬間に立ち会えるこの場にいること



に幸せを感じるひと時だった。

十分に満喫してから、観音平への下山路へ踏み出す、しばらくは岩の多い急下

降が続く。続々登ってくる登山者との行き違いも多く手頃なハイキングの山でもあることが分かる。休憩をはさんで小広い押手川へ、その後はアブ攻撃を受けて

の下りが雲海の下まで続き、アブも消えた観音平手前の明るく気持ちの良い樹林帯で涼んでから、観音平へ下山した。

炎天下の小淵沢までの歩きは都合により？変更、タクシーをチャーターしてスパティオ小淵沢の『延命の湯』へ直行です。汗を流して、スッキリして下山の乾杯で予備山行パート2も終了となった。

盛夏、快晴、無風と条件には恵まれたが、テント泊のみで設定された当会初の歩く山行が実施できたことは、非常に嬉しかった。メンバー諸氏も山の楽しみ方の多様性を理解いただけたら幸いです。

この山への思いを持って夏山へ向かってもらえたらと思います。

こぶし会とメンバーに感謝です。素晴らしい山行でした。アリガトー！

(記・涌井 良明)

(写真提供・涌井良明／石原勝正)

